資料３

令和８年度　和泉市医療と介護の連携推進フォーラム（案）

令和8年8月5日　和泉市医療と介護の連携推進審議会

背景	○2040 年問題を踏まえ、少子高齢化、独居高齢世帯の増加、生産年齢（支援の担い手）の減少に伴う課題が顕著化する。昨今では、頼れる身寄りがない「おひとりさま問題」が地域の課題として浮上している。 ○社会福祉法等の一部を改正する法律（令和8年法律第51号）の施行をうけ、頼れる身寄りのない高齢者等への支援の充実および体制の整備が強く求められる。 ○高齢者保険福祉計画及び介護保険事業計画（10 期）のニーズ調査において、要介護未認定者の約半数が「有事の際に相談する相手がいない」と回答。また、「緊急時にかけつけてくれる人がいない」と回答した一人暮らしの高齢者は、夫婦世帯やその他の世帯に比べて約 3～4 倍に上る。 ○本市では平成25年4月に「和泉市市民を中心とした医療と介護の連携推進条例」を施行、地域一体となった連携体制を構築してきた。施行から10余年経過した今、この基盤を活かしつつ、高齢者を取り巻く現状を踏まえ、改めて条例の原点に立ち返り、地域全体で共有し直す好機を迎えている。
目的	○「我が事」としての主体的備えと「日常からの心構え」の意識醸成 ○「専門家任せ」から、市民の「自分らしい生き方」を専門職が一体となって支え、寄り添う支援の深化。 医療職・介護職の役割や機能、現場の生の声を届ける。 ○「和泉市版人生会議メモ」の活用による対話の促進。
テーマ	（仮） ～事前の〝心構え〟と知っておきたい医療と介護の役割～
主催/共催	和泉市/和泉市医療と介護の連携推進審議会
対象	和泉市在住・在勤・在学の人 特に、50～60 代（2040 年ごろに高齢者、後期高齢者になる世代）
参加費/定員	無料/100 名（部屋の定員 200 名だが、GW を考慮し設定）
日時・場所	令和 9 年　　月　　日（　）午前・午後○時間○分 和泉シティプラザ 3 階レセプションホール 住所：大阪府和泉市いぶき野五丁目 4 番7号 最寄り駅：南海電鉄泉北線「和泉中央」駅より徒歩約3分 車：難波方面より阪神高速 15 号堺線→泉北 1 号線　利用し約 50 分

広報戦略	□広報（　月号）、市 HP □ちらし □市内企業、公共施設配架	□いずみメール □市内医療、介護関係機関
日程案	【候補日　7/24 時点】 2/11（水）、2/21（日）、2/28（日）	

プログラム		
時間	内容	備考
5分	開会挨拶（市長）	開催主旨説明
30 分	【1部】講師による講話	現在困っていなくても、急遽誰かの支えが必要になる可能性があることを自分ごととして自覚し、元気なうちから将来に向けた備えの必要性、心構えなどを伝えてもらう。
30分	【2部】トークセッション （座長・出演者・講師）	医療職・介護職の役割（本来は本人の困っていることに伴奏する役割・ケアマネージャーのシャドーワークなど）や病院機能による対象・対応の違い、今後予測される状況、実際にもしもの時を迎えた本人の対応に困った実例など
5分	休憩・場面展開	
30 分	【3部】グループセッション	参加者同士でグループを作り、いつかは訪れるかもしれない誰かの支えが必要となった時に備え、平時からの準備について話し合う。医療職と介護職等との意見交換からヒントを提供する。
5分 5分	登壇者による〆・まとめ 情報提供・閉会	市の取組と人生会議メモの周知、感謝 ※人生会議メモは安心して過ごすための備えの一つとして情報提供する。